

消費税率引上げ後の消費動向等 について（9月第1週）

平成26年9月12日

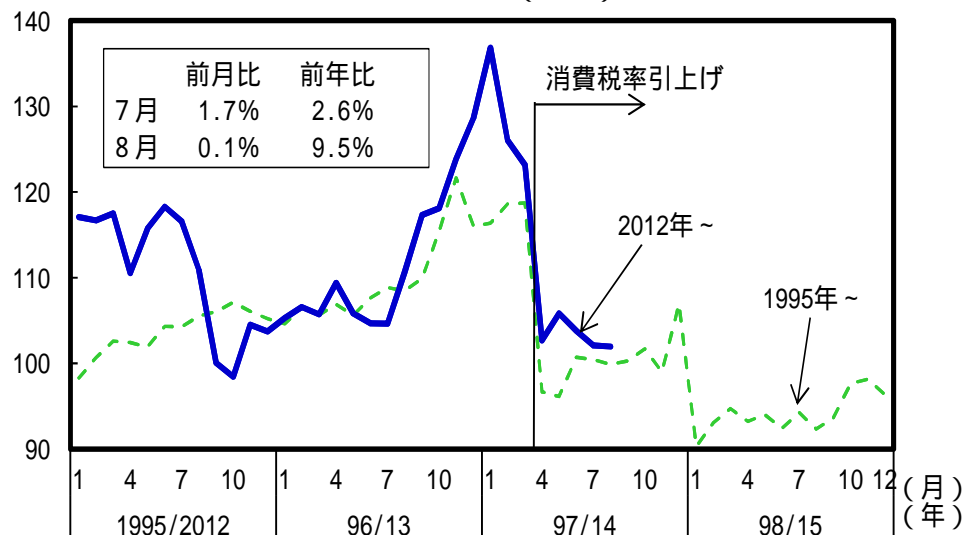
内閣府

自動車・家電販売の動向

自動車販売（除軽、登録ベース）は、8月は前年比でマイナスとなった。

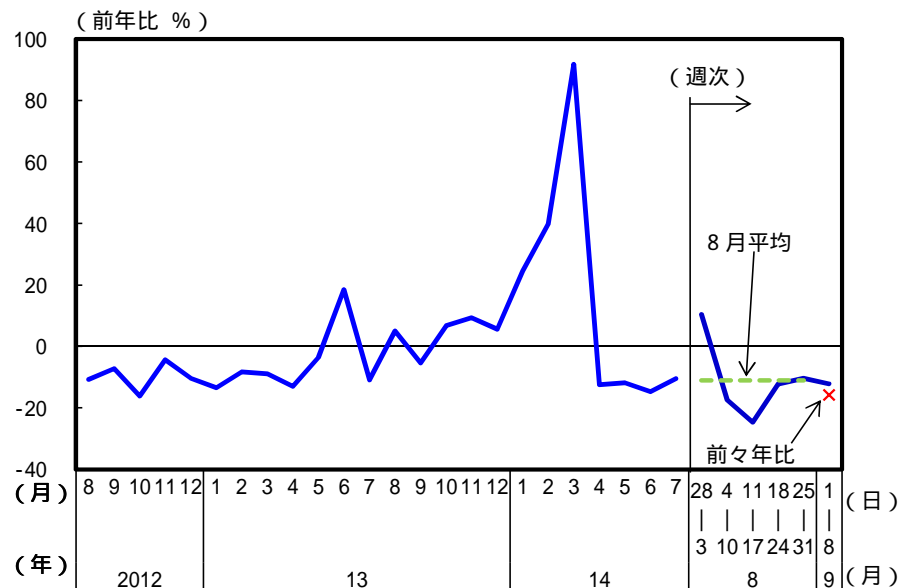
主要5品目の家電販売は、9月第1週では、前年比マイナスとなった。

新車販売台数（含軽）



(備考) 1. 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。
2. 内閣府による季節調整値を指数化したもの。

家電販売金額（家電量販店主要5品目）（税抜）



(備考) GfKジャパン（全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計）により作成。テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。

自動車販売台数（除軽、登録ベース）は、9月第1週は前年比でマイナスとなった。昨年に新型車が好調だったことや、駆け込み需要が徐々に始まっていたこと等が要因と考えられるが、月初なので慎重にみていく必要がある。 今後は、秋以降に予定されている新型車投入の効果に期待したい。 【業界団体A】

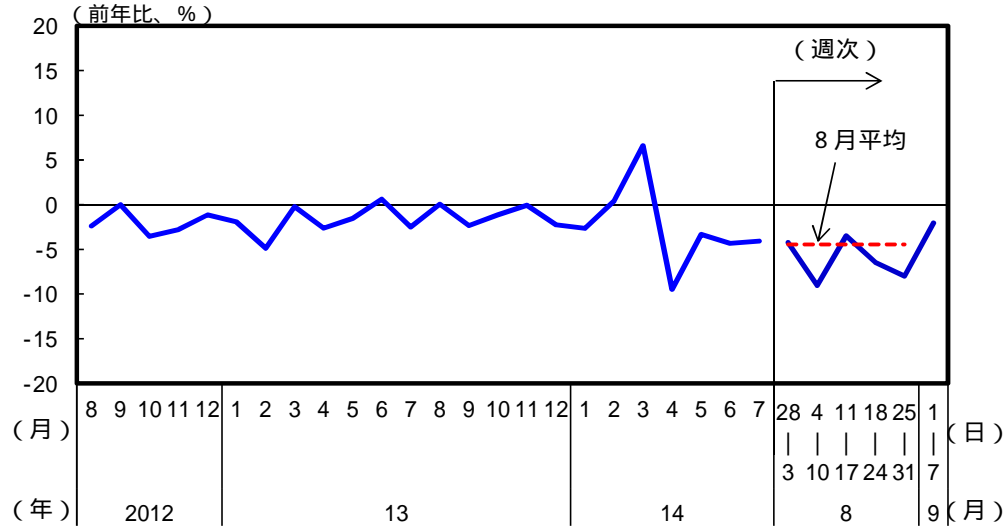
軽自動車販売台数（届出ベース）は、8月は、昨年が非常に高かったこともあって、前年比でマイナスとなった。 9月は各社とも決算商戦に向けて力を入れているので、その効果に期待したい。 【業界団体B】

9月第1週は、前年比マイナスとなった。 主要5品目の販売について、増税後から足下までの販売回復ペースは緩慢となっている。また、iPhone6の販売を今月中に予定している家電量販店も多いと聞いているが、昨年のiPhone5s発売前と比べて今年は新製品発売前の買い控えがそれほどないという印象。 【市場アナリスト】

飲食料品・百貨店・サービス販売の動向

スーパーの売上は、9月第1週では、前年比マイナスとなった。

飲食料品（除く生鮮食品）販売金額（スーパー）（税抜）



(備考) 1. KSP (全国の食品スーパーマーケット販売実績を調査・集計) により作成。
 2. 加工食品、飲料・酒類、菓子類の3品目の合計。税抜き価格ベース。
 3. 既存店ベースのため、前年比が低めに出る傾向がある。
 4. 7月第4週は、祝日の影響を取り除くため、7月14日~27日の2週間の前年比を算出している。
 また、直近のデータは、速報値。

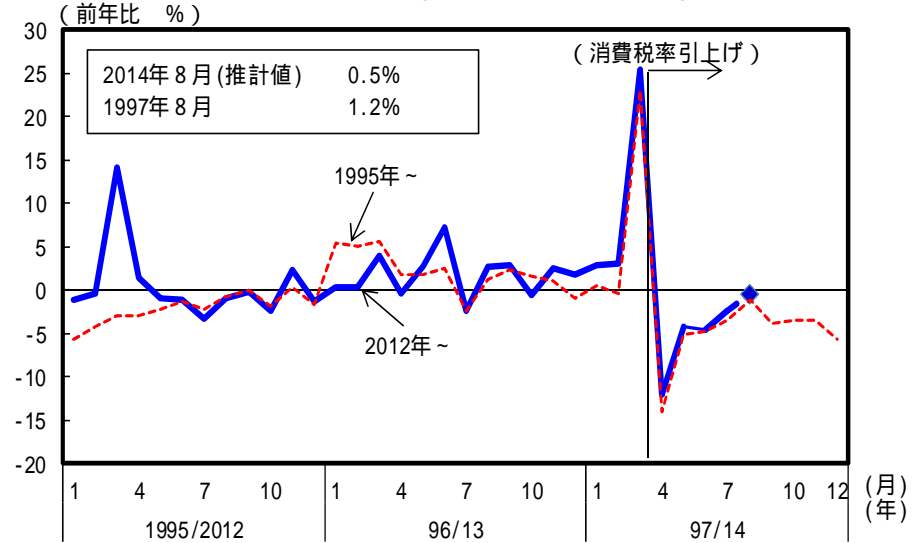
9月第1週の売上は前年比で増加となった。精肉、野菜が売上にプラスに寄与した。チラシを通じた販促やカット野菜の販売など、当社の販売戦略が奏功しているとみている。
【食品スーパーA】

サービス消費は、旅行については、7月はほぼ前年比プラスとなった。外食は、天候要因に左右されているものの、底堅く推移。

予約状況については、7月から大きな変化はみられない。国内については、テーマパークの人気等を背景に、秋の行楽シーズン、年末にかけて順調な出足となっている。
【旅行会社A】

大手各社の9月第1週の売上前年比はプラスとなった。低気温の影響もあり、引き続き秋冬物の売行きが好調。

百貨店売上高（税抜、既存店ベース）



(備考) 日本百貨店協会により作成。8月の値は内閣府による推計値。

9月第1週の売上前年比はプラスとなった。入店客数は前年比若干のマイナスだったが、1人当たりの売上が大きくなったことで、売上が前年を上回った。秋物の売行きが好調で、衣料品は前年比1割弱のプラスとなっている。
【百貨店A】

9月第1週の首都圏の売上前年比はプラスとなった。引き続き、低気温により秋冬物が好調なことから、衣料品関係の売上前年比のプラス幅が大きい。売上単価も上昇しているなど、明るさもうかがわれる。しかし、入店客数は減少しているなど、賃金の上昇やマインドの改善に広がりがないのではないかと少し懸念している。
【百貨店B】